

第1回 官庁施設の長寿命化のための保全手法・評価手法検討会

議事概要

■日 時 : 平成 26 年 12 月 11 日(木)10:00~12:00

■場 所 : 中央合同庁舎第2号館
低層棟1階 国土交通省共用会議室2B

■出席者 : 小松座長、川瀬委員、高橋委員、名取委員、古橋委員

■議事概要 :

- ・事務局より資料説明後、議論を行った。
- ・今回は、現在の官庁営繕の取組等に対するの質疑、確認等が中心に行われた。委員からの主な発言は以下のとおり。
 - 今回検討する対象について、官庁営繕が行う施設整備や保全指導の対象範囲、各省庁との関係を踏まえ、どの範囲で考えるか。
 - 建築物の長寿命化を検討するにあたり、適切な「量」がどの程度か、といったことを考えることも重要。単純に長寿命化をすれば、コストがかかる。限られた予算での効率的な対応を考えていく必要がある。
 - 施設管理は建築や設備の専門家ではない者が行っていることがほとんどであるという認識に基づいた対応を考えるべき。専門的なものをつくると施設管理者には使いにくいものになってしまう。
 - 今回の検討を進めるにあたり、官庁施設情報管理システム(BIMMS-N)のデータを様々な形で分析することが有用ではないか。
 - 今回検討する「長寿命化」というものをどのようにとらえるのかについては、次回議論することとする。